

第三次健康わこう21計画・第四次和光市食育推進計画・ 第3期和光市自殺対策計画の策定

計画策定のための地域の絆と安心な暮らしに関する調査内容について

和光市健康部健康支援課

1. 策定の背景

- **計画期間の満了**

第二次健康わこう21計画及び第三次和光市食育推進計画は、平成30年度を始期とする計画期間9年の計画として策定されており、令和8年度をもって計画期間が終了する

- **現行計画の位置づけ**

健康増進法及び和光市健康づくり基本条例に基づく計画
市民の健康づくりに関する理念計画として、両計画を一体的に策定

- **国・県の動向**

健康埼玉21が埼玉県長寿医療計画及び地域保健医療計画と一体的に策定
自殺対策についても同計画に包含した

上記を踏まえ、次期計画では以下の3計画を一体的に策定する

- 第三次健康わこう21計画
- 第四次和光市食育推進計画
- 第3期和光市自殺対策計画 ※今回新たに包含

2. 計画の期間

次期計画策定の為の事前調査(絆調査)
計画策定

西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
令和	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
市	第二次健康わこう21計画 第三次和光市食育推進計画(9年計画) <平成30年度~令和8年度>					第1期和光市自殺対策計画 <平成30年度~令和4年度>	第2期和光市自殺対策計画 (4年)		第三次健康わこう21計画 第四次和光市食育推進計画(9年) 第3期自殺対策計画(9年) <令和9年度~令和17年度>						
	R13 中間見直し														
国	健康日本21(第二次) <平成25年度~令和5年度>				健康日本21(第三次) <令和6年度~令和17年度>										
	第4次食育推進基本計画 <令和3年度~令和7年度>					第5次					第6次				
	自殺総合対策大綱 (約5年を目途に見直し)														
県	健康埼玉21(~令和4年度) 埼玉県健康長寿計画 埼玉県食育推進計画 埼玉県歯科口腔保健推進計画 第7次埼玉県地域保健医療計画 第3期埼玉県がん対策推進計画			第8次埼玉県地域保健医療計画 埼玉県健康長寿計画(第4次) 埼玉県歯科口腔保健推進計画(第4次) 埼玉県食育推進計画(第5次)						第9次					

3. 第三次健康わこう21計画等 策定スケジュール(案)

日時	和光市	HSC審議会
R8.2月	計画策定コンサル業者決定	
	計画策定コンサル業者契約準備	
3月	調査票(案)の確認・修正	3月27日(金)R7年度第1回審議会開催 ・計画の位置づけ ・調査票(案)の調査内容検討 ・策定スケジュールの提示
	計画策定コンサル業者契約、現状分析・課題整理	
4月	調査設問設計	
	調査票確定・印刷・広報周知	
5月	案内文・調査票送付	
6月	調査実施・再周知送付	
7月	調査締め切り・集計	
	報告書作成	
8月	骨子案作成(現計画評価)	
9・10月	素案作成	(9月中下旬～10月初旬頃) R8年度第1回審議会開催 ・絆調査報告・施策への反映
11月		素案確認・意見徴収
12月		R8年度第2回審議会開催 ・意見の反映状況報告
R9.1月	素案確定・パブコメ資料作成	
2月	パブリックコメント実施	
3月	次期計画公表(3月末)	R8年度第3回審議会開催 ・パブコメ意見と市回答の共有 ・計画策定の最終決定

4. 市民アンケートの概要(地域の絆と安心な暮らしに関するアンケート)

【調査の目的】 「第三次健康わこう21計画等」策定にあたり、
市民の健康暮らしの状況を把握するため

① 絆調査(東京都長寿医療センター研究所との共同調査)

項目	内容
調査対象	市内在住の市民
対象者数	約37,000人(研究所:約23,000人/市:約16,000人)
調査方法	郵送回答方式(研究所)+WEB回答方式(市)
調査時期	令和8年6月~7月(予定)
調査項目	基本は前回項目を踏襲の上、国・県計画の調査、自殺対策調査項目等を加除

② 健康・食育アンケート

項目	内容
調査対象	市内小中学校に通う小学5年生の児童・中学2年生の生徒
調査時期	令和8年6月~7月(予定)
調査方法	令和元年実施の健康アンケートを踏襲(国・県の動向をみて加除)

5. アンケート調査項目の見直し案

・ 調査項目の整理方針

【基本的な考え方】

第三次計画の評価指標と直接紐づく項目を中心に構成し、東京都長寿医療センター研究所との役割分担を踏まえて項目を整理する。

● 継続・追加項目について(案)

区分	主な項目	見直しの趣旨
継続	(別紙2-1参照)	—
追加	ゆっくりよく噛んで食べるか	健康日本21(第三次)、食育推進基本計画及び埼玉県地域保健医療計画の評価指標との整合性の確保、口腔機能等の実態把握のため
	ちょこっとプラス(野菜摂取啓発資材)の認知度	市の食育推進施策の評価指標として認知度を把握するため
	災害時に備えた食品備蓄	食育推進基本計画及び埼玉県保健医療計画を踏まえ、食の備蓄状況を把握するため
	共食の頻度	国の食育推進基本計画の目標項目に対応し、孤食の実態を把握するため
	ALKOOマイレージの認知度	埼玉県の健康づくり施策の認知度を把握するため
	ヘルスサポーターの認知度	市の健康増進施策の評価指標として認知度を把握するため
	うつ症状・希死念慮の把握(PHQ-9※)	市の自殺対策計画を踏まえ、うつ症状・希死念慮の実態を把握するため
	心理的苦痛の程度(K6※)	国・県の健康増進計画における評価指標との整合性を確保するため

※PHQ-9:うつ病スクリーニング尺度(9項目)希死念慮の有無も含む(別紙2-2参照)

K6 :心理的苦痛を測る簡易尺度(6項目)。気分・不安障害のスクリーニングに活用(別紙2-3参照)

● 継続・追加項目について(案)

区分	項目	主な項目	見直しの趣旨
統合		軽い体操や定期的な運動・スポーツの有無	他の運動・身体活動に関する設問と内容が重複するため(別項目を採用)
	身体活動	筋力運動の有無 高強度、中強度の身体活動 (工作中、自宅、余暇の時間)	前回の研究所固有テーマに関する項目となるため 筋力運動の有無や身体活動については、特定健診等の保健事業や介護予防分野の各種調査、スポーツ分野の市民アンケート等により運動・身体活動の状況把握が行われているため
		健康遊具や運動・スポーツができる公園の利用 公営の運動・スポーツができる公園の利用	・施設の利用状況よりも身体活動そのものの実態把握を優先するため ・教育委員会発行の「和光の教育」で施設利用状況を把握しており、重複を避けるため
		移動手段(自動車、バス、電車)/移動環境	・前回の研究所固有テーマに関する項目となるため ・和光市地域公共交通計画策定に係る市民アンケートにて状況を把握しており、重複を避けるため
削除	就労 有償ボランティア	働いている理由 高齢者を積極的に雇用している企業イメージ 仕事に対するニーズ(好み、希望、重視する点など) 有償ボランティアに対するニーズ(希望、重視する点など)	前回の研究所固有テーマに関する項目となるため
	状態 こころの	気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすること どうしても物事に対して興味がわからない、 あるいは心から楽しめない感じの2項目	国・県の計画で用いられる標準的な指標(PHQ-9・K6)に統一し、整合性を確保するため
	状況 生活	世帯の合計収入額	前回の研究所固有テーマに関する項目となるため

6. 令和8年度 調査実施分担

実施内容	研究所	市
① 調査項目の選定、質問票の校正	●	●
② 対象者リスト作成		●
③ 調査票の製本・発送・回収・データ入力	●	●
④ お礼状兼督促状の作成・発送	●	●
⑤ データの集計・分析、報告書作成・製本※	●	●
⑥ 計画の作成・製本		●

※ 研究所調査分のデータを市が受領し、集計・分析、報告書作成を実施。